

かたちをつたえること

.....

はじめてみる、めずらしいものの姿かたちを、
ここにいない人に伝えるとき、あなたは どうしますか？
いまは、スマートフォンなどで撮影して送ることができます。
でも、スマートフォンも、カメラも、コピー機もない時代は

どうしていたのでしょうか。

大切な仏さまの複雑なかたちを伝えるのも

とても大変なことでした。

貴重な仏さまのすがたをきちんと伝えるために

つくられたのが図像です。

仏さまのすがたを伝える図像は、

新しい仏画や仏像をつくる時のお手本になったり、

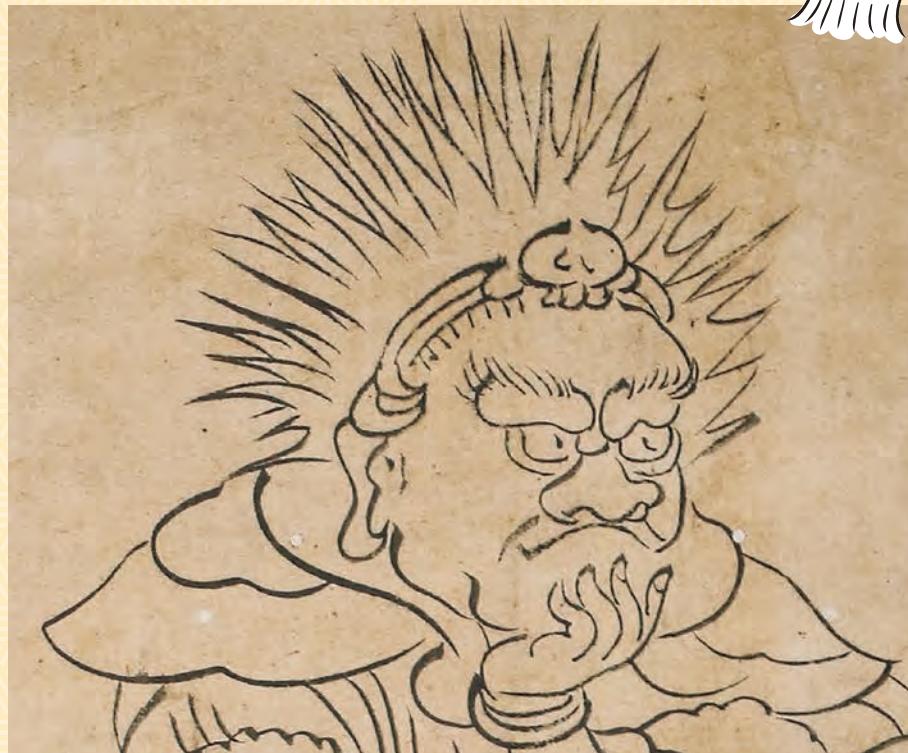
仏さまについて学ぶときの教科書として

つかわれたりしました。

では、図像を描いた「紙」に注目してみましょう

ほとけ 仏さまのかたちをうつしてみよう

あぶらがみ かさ
油紙を重ねてなぞってみてね



じゅうろくぜんしん ずぞう 十六善神図像 部分



特集 親と子のギャラリー
仏さまのかたち 一写す、伝える、広がる—
令和7年(2025)7月23日発行

企画・執筆：教育普及室
イラスト：鈴木佳奈子(以上、東京国立博物館)
制作・印刷：アイワード

ほとけ とくしゅう おや こ 特集 親と子のギャラリー 仏さまのかたち

一写す、伝える、広がる—

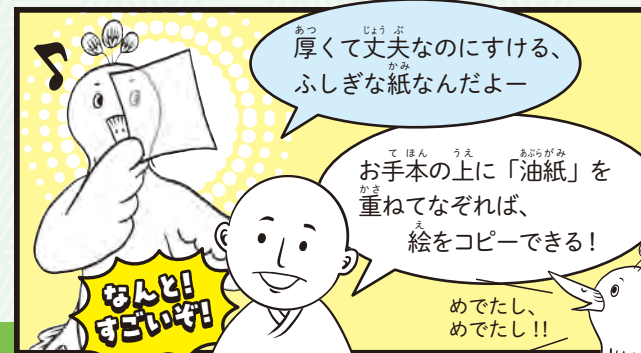
ジュニアガイド

2025年7月23日(水)～8月31日(日)

とうきょうこくりつはくぶつかん へいせいかな まかてん じしつ
東京国立博物館 平成館 企画展示室



じゅうろくぜんしん ずぞう 十六善神図像
へいあん じだい じしゅう ねん
平安時代・治承3年(1179)
おとし ころきん じでんらい まつがやすぞ えもんしん ずぞう
京都・高山寺伝来 松永安左衛門氏寄贈



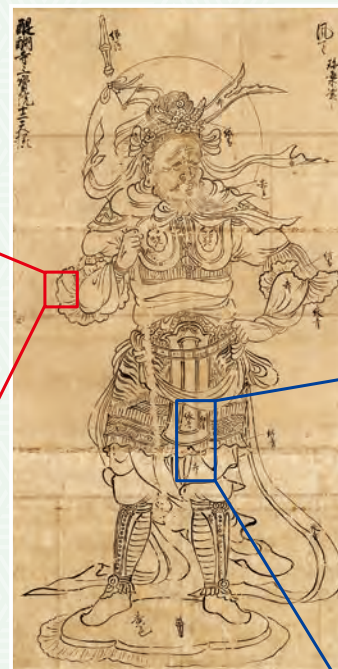
油紙は色が茶色っぽいよ。
線がかすれたように見えるね。紙に油をぬっているから、墨をはじいてしまったんだって!



今は掛軸だけど、もともとは紙を折りたんで保管していたんだ。

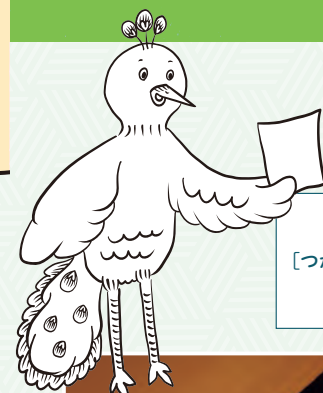


展示室で、油紙の特徴を確認してみよう



重要文化財 十二天図像 (風天)
鎌倉時代・13世紀
原本：珍海筆 平安時代・12世紀

「緑青」「紺青」「赤」って書いてある! その色でぬってね、というメモなんだ。「黄色」でぬるところはどこかな?



く・じゃっくうと一緒に、油紙を作ろう

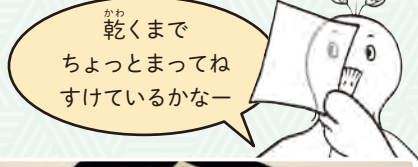
※材料や道具は、いま手に入れやすいものを使用しています

- 【つかうもの】
- 厚手の和紙 (10 羽以上の楮紙がおすすめ!)
 - 刷毛 ● 荏油 ● アルミホイル ● キッチンペーパー
 - 墨 ● 筆 (筆ペンでも OK!)



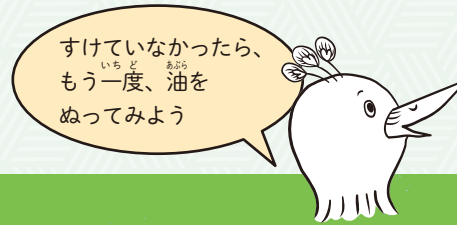
アルミホイルをしいて、その上に和紙をおくよー

刷毛で油をぬって
よぶんな油はキッチンペーパーですい取ろう



乾くまで
ちょっとまってね
すけているかなー

乾いてすけていたら完成!
お手本の絵の上に重ねて、線をなぞってみて!



すけていなかったら、もう一度、油をぬってみよう

